ご注意：本書は正式な取り扱い説明書ではありません。

本書は取り扱い説明書から注意文など製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したもので、操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった目的のために無償でご提供しています。正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。

１：正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

２：アマチュア無線機の場合、無線局免許状の書き方は申請書式や技適基準改正により変更になっているものがたくさんあります。http://www.alinco.co.jp/denshi/10.html　に技適番号やデジタルモード（音声・パケット）に関する情報を掲載しておりますので、合わせてご確認ください。

３：本書に記載の付属品・オプションアクセサリー・定格などは予告無く変更されているものがあります。最新の情報は弊社ホームページに掲載されています。

その他、動作や操作に関する良くあるお問い合せは：
http://www.alinco.co.jp/denshi/11.html　のＦＡＱページをご覧ください。

アルインコ（株）電子事業部

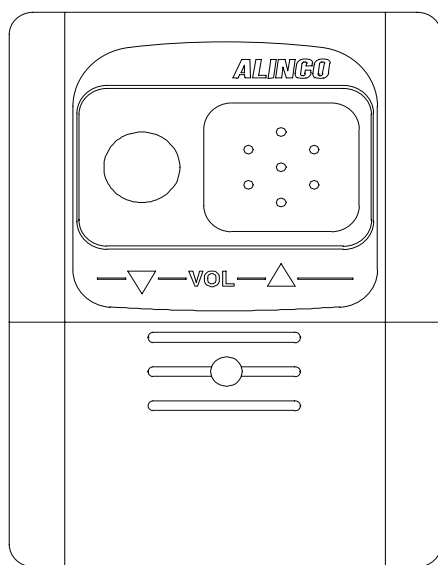
ALINCO

特定小電力トランシーバー専用受信機

DJ-RX2

取扱説明書

ALINCO

VOL

アルインコの受信機をお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

アルインコ株式会社

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■ご使用環境

高温・多湿・直射日光のあたるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで

分解したり、内部を開けることは絶対にしないでください。

■水につけないで

本機は防水仕様ではありません。直接雨や水滴がかかるような使い方は避けてください。万一、水がかかった時はすぐに乾いた布で拭き取って、完全に乾くまでは電源スイッチを入れないでください。

■通信距離

本機は携帯性を重視するため、内蔵アンテナを採用しています。
受信できる距離は、通常の特定小電力トランシーバー（ロングアンテナタイプ）と比べると約 4 割程度短くなります。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

付属品

開梱しましたら、付属品を確認してください。

- □ 本体 DJ-RX2
- □ イヤホン
- □ ネックストラップ
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 保証書

※本機をお使いになる前に単４形乾電池２本（同じメーカー・同じ種類の新しいもの）をご用意ください。
大容量のアルカリ乾電池またはオキシライド乾電池をお勧めします。

※市販のニッケル水素電池（Ni-MH）もご使用になれますが、電池の特性上、電池持続時間が短くなりますのでご注意ください。

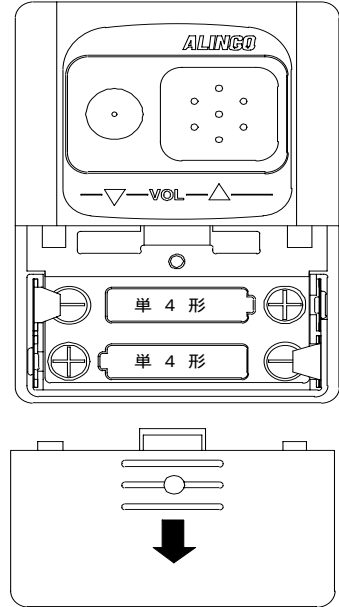
乾電池の入れ方

乾電池を次のように装着します。

①カバーを開ける

突起を利用して電池カバーを下方向にスライドさせます。

②電池を入れる

市販の単 4 形乾電池 2 本を、ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがって装着します。

注意
- +/-の向きが違わないように注意してください。
- 電池は常に同じ種類の新しいもので使用・交換してください。
- 長時間使用しない場合は電池を取り外してください。
- 電池の交換は本体の電源スイッチを OFF にしてから行ってください。

③カバーを閉める

ツメを合わせ、カバーを閉めます。
きちんと閉まっていることを確認してください。

各部の名称

本機の各部の名称を説明します。各部の操作は P13 を参照ください。

■　前面部

ALINCO

音量 DOWN キー

音量 UP キー

VOL

電池カバー

■　上面部

イヤホン端子

インジケーター

ストラップ取付ヒンジ

ON OFF

電源スイッチ

■　電池カバー内部

設定スイッチ 1

1 2 3 4 5 6 7 8

グループ番号設定用

ALINGO

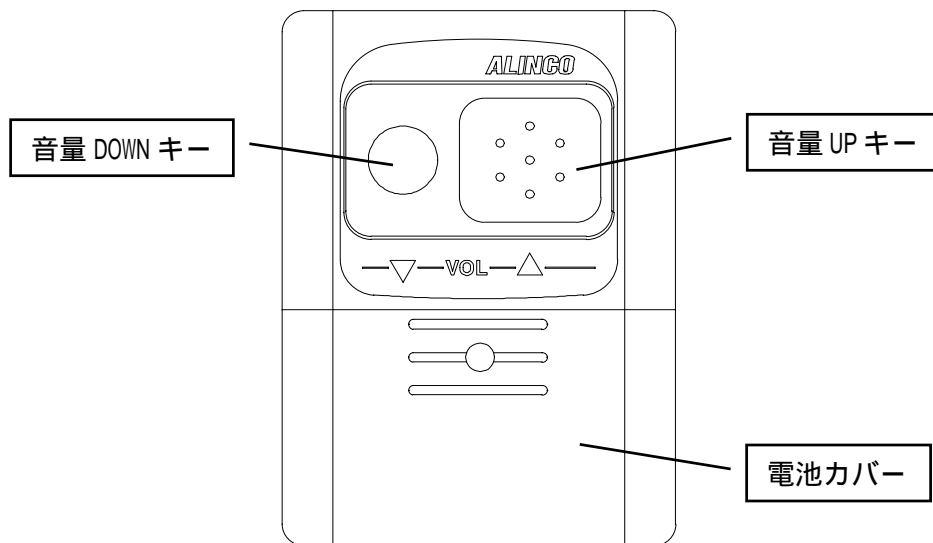
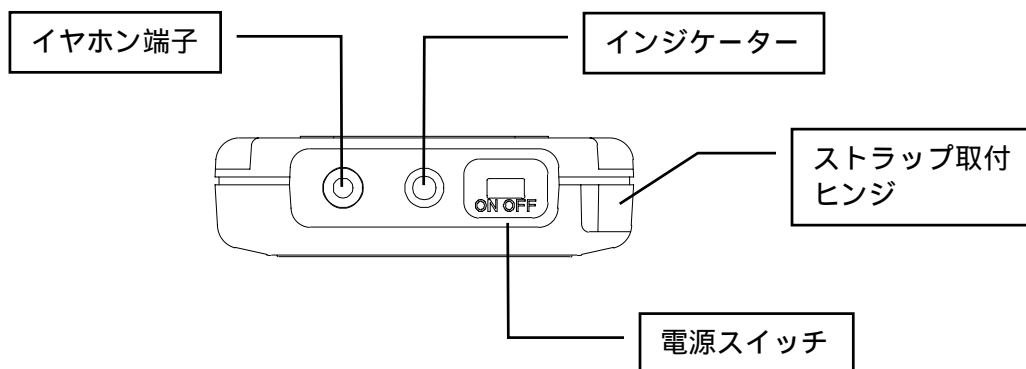
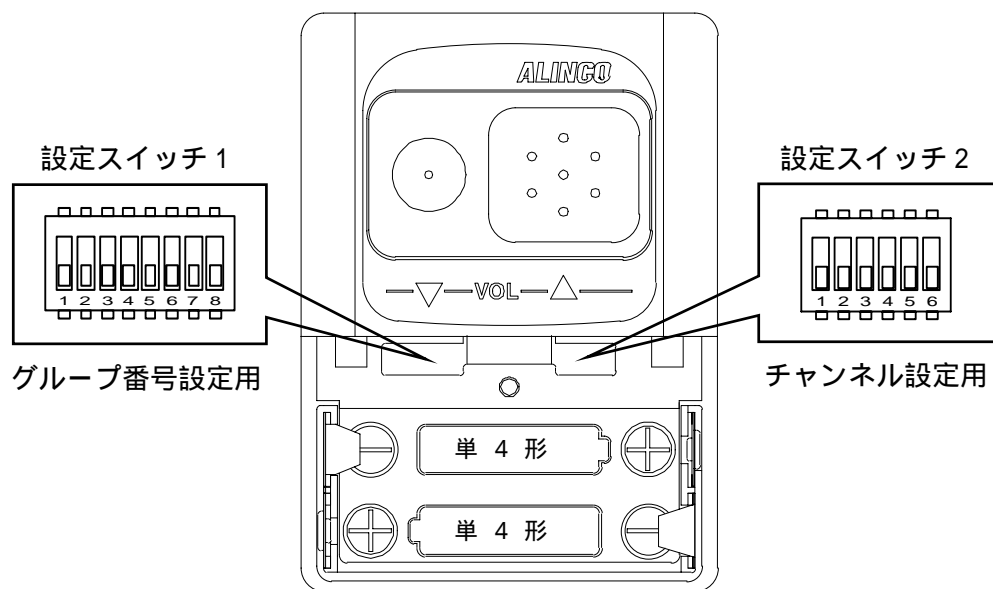
▽ VOL △

設定スイッチ 2

1 2 3 4 5 6

チャンネル設定用

単 4 形

単 4 形

各部のはたらき

本機の各部のはたらきを説明します。

□　音量 UP キー
　音量を上げるときに使用します。押す毎に 1 段階づつ変化します。

□　音量 DOWN キー
　音量を下げるときに使用します。押す毎に 1 段階づつ変化します。

メモ　・キーを押すと「ザッ」という音が聞こえますので最適な音量に調節してください。
・安全のため、キーを押し続けても音量は変化しないようになっています。適当な音量になるまでキー操作を繰り返してください。
・電源を OFF（または電池を交換）すると、音量は初期値に戻ります。

□　イヤホン端子（φ 2.5）
　付属のイヤホンを接続します。

メモ　・付属のイヤホンは左右どちらの耳でもお使いになれます。イヤホン部分をまわしてご使用ください。

□　インジケーター（赤ランプ）
　電源を ON すると点灯します。
　電池容量が減少（電池の交換時期が近づく）すると点滅します。
　P10 を参照し、電池を交換して下さい。

□　電源スイッチ
　左方向にスライドさせると電源が入ります。

□　設定スイッチ 1（8 極）
　グループ番号を設定するときに使います。

□　設定スイッチ 2（6 極）
　受信チャンネルを設定するときに使います。

2 スイッチの設定方法

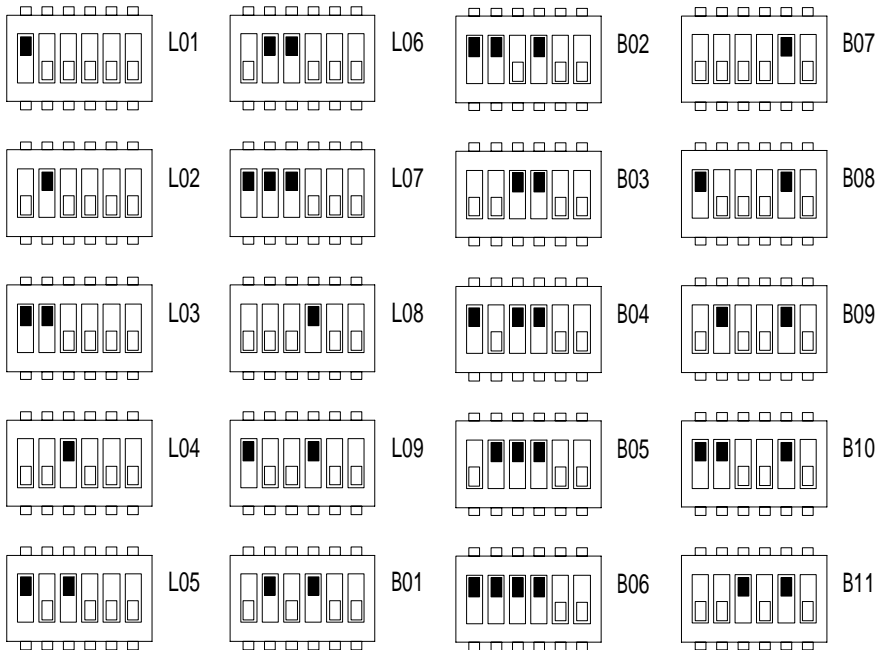
スイッチを設定する前にお読みください。

受信チャンネルの設定方法

受信チャンネルの設定方法について説明します。
本機のチャンネルは、従来の特定小電力トランシーバーと周波数の互換性があります。

□　交互通話用チャンネルの設定

設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L01ch〜L09ch と 11ch 方式の B01ch〜B11ch に合わせることができます。

L01	L06	B02	B07
L02	L07	B03	B08
L03	L08	B04	B09
L04	L09	B05	B10
L05	B01	B06	B11

メモ

・スイッチの切り換えにはペン先のようなものをお使いください。ナイフのような鋭利なものではスイッチを破損し、故障の原因となりますのでご注意ください。
・設定スイッチ 2 を目的のチャンネルに合わせることにより切り替えが有効となります。
・無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L01ch」となります。

□　中継通信用チャンネル（周波数帯 A:421MHz 帯受信）の設定

設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L10ch〜L18ch と 11ch 方式の B12ch〜B29ch に合わせることができます。

L10　L17　B17　B24

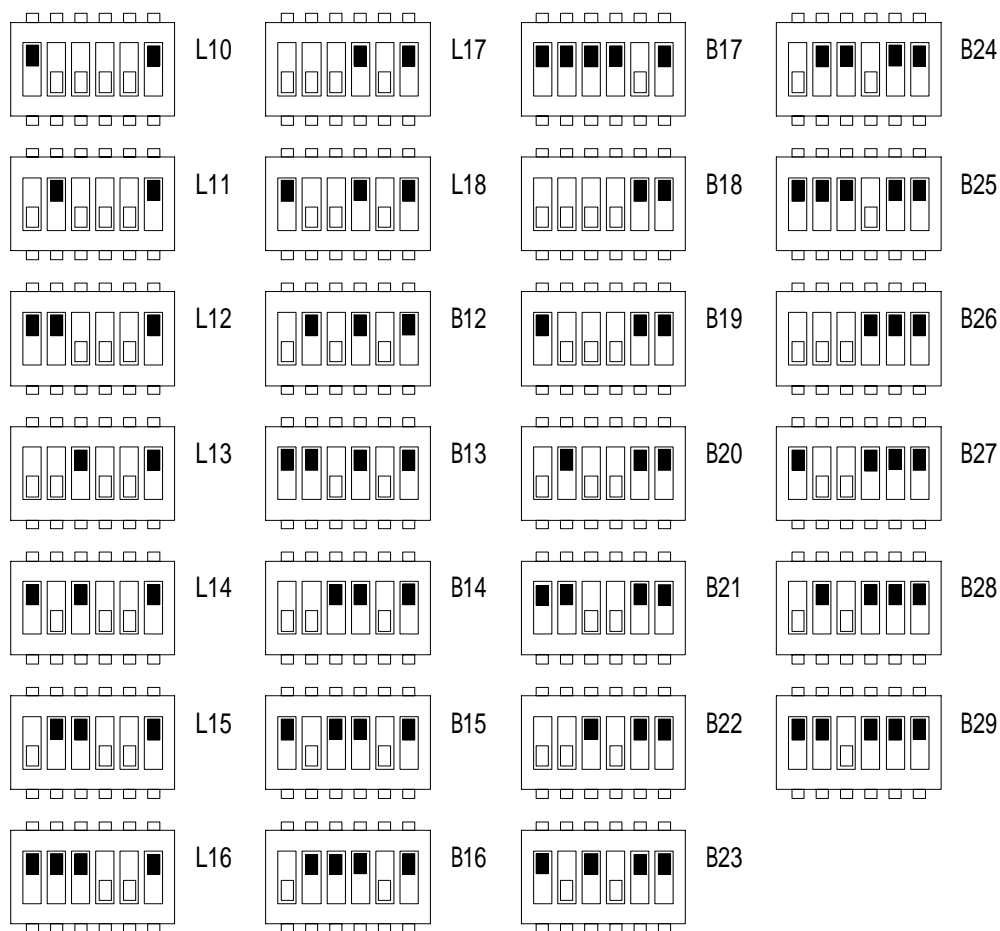
L11　L18　B18　B25

L12　B12　B19　B26

L13　B13　B20　B27

L14　B14　B21　B28

L15　B15　B22　B29

L16　B16　B23

メモ

- 設定スイッチ 2 を目的のチャンネルに合わせることにより切り替えが有効となります。
- 無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L10ch」となります。
- 3 分の時間制限なく通信したいときは、送信機側 DJ-R100D/DJ-R20D をローパワー（連続送信可能）設定することにより可能となります。（上記ビジネスチャンネル［B12〜B29］のみ）

グループ番号の設定方法

グループ番号の設定方法について説明します。
この設定を行うと、同じグループ番号が設定された信号を受信した時だけイヤホンから音声が聞こえます。

□　グループ番号（6 種類）

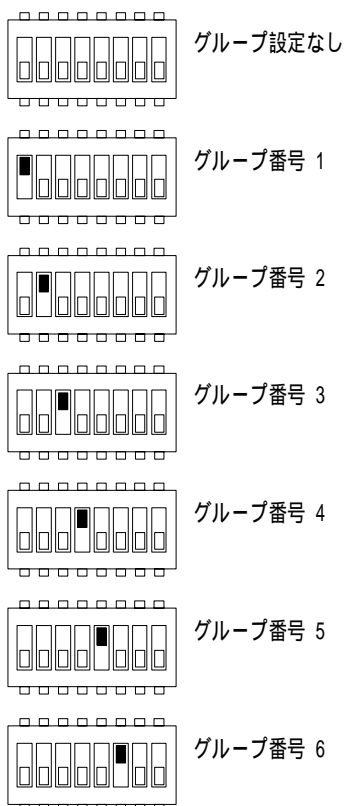
設定スイッチ 1 の倒し方で、グループ番号 1〜6 の中から 1 つを選んで設定することができます。
トランシーバー側で “ グループトーク機能 ” と呼ばれている設定に合わせて受信してください。

グループ設定なし

グループ番号 1

グループ番号 2

グループ番号 3

グループ番号 4

グループ番号 5

グループ番号 6

メモ

・設定スイッチ 1 を目的のグループ番号に合わせることにより切り替えが有効となります。
・無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「一番左側」の設定が有効となります。

各チャンネルの受信周波数

■　レジャーチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
L01	422.2000
L02	422.2125
L03	422.2250
L04	422.2375
L05	422.2500
L06	422.2625
L07	422.2750
L08	422.2875
L09	422.3000

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
L10	421.8125
L11	421.8250
L12	421.8375
L13	421.8500
L14	421.8625
L15	421.8750
L16	421.8875
L17	421.9000
L18	421.9125

■　ビジネスチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
B01	422.0500
B02	422.0625
B03	422.0750
B04	422.0875
B05	422.1000
B06	422.1125
B07	422.1250
B08	422.1375
B09	422.1500
B10	422.1625
B11	422.1750

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
B12	421.5750
B13	421.5875
B14	421.6000
B15	421.6125
B16	421.6250
B17	421.6375
B18	421.6500
B19	421.6625
B20	421.6750
B21	421.6875
B22	421.7000
B23	421.7125
B24	421.7250
B25	421.7375
B26	421.7500
B27	421.7625
B28	421.7750
B29	721.7875

トーン周波数一覧

■　グループ番号トーン周波数一覧

番号	周波数［Hz］
1	67.0
2	71.9
3	74.4
4	77.0
5	79.7
6	82.5

オプション一覧

EME-27　　耳掛け式イヤホン（DJ-RX2 付属品）
EME-25　　カールコードイヤホン
EME-18　　ストレートケーブルイヤホン

故障とお考えになる前に

本機が故障かな？と思ったら、まずこちらをお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定してください。
	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	相手と距離が離れすぎている。	通信距離を目安に近づいてください。
	グループ番号が違う。	グループ番号を合わせてください。

電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。
新しい電池に交換してください。

定　格

受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000～422.3000MHz 421.8125～421.9125MHz(12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ)
	ビジネスチャンネル	422.0500～422.1750MHz 421.5750～421.7875MHz(12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ)
発振方式	水晶発振周波数シンセサイザ方式	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBμ以下（12dB SINAD）	
中間周波数	1st IF 21.7MHz / 2nd IF 450KHz	
音声出力	5mW 以上（8Ω負荷時）	
定格電圧	DC2.4V～DC3.0V	
消費電流	受信定格出力時 約 60mA 受信待ち受け時（平均）約 15mA	
動作温度範囲	-10℃～+50℃	
寸法	54(W)×75(H)×15(D)mm （突起物除く）	
重量	約 36g（乾電池除く）	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。